



# 校長の目 ～西小日々通信～

令和4年11月11日（金）



西小の紅葉情報第2弾。校庭の桜は、葉が真っ赤に染まりました。そよ風でもハラハラと落ちてきます。今朝は、少年野球チームのコーチの方が、校庭の落ち葉掃きをしてくださいました。これまでも除草や枝払いをしてくださっており、いつも本当にお世話になっています。ありがとうございます。桜は、春には花の美しさ、夏には木陰、秋には紅葉と季節ごとの楽しみを与えてくれます。冬は、何も見どころがないように思えますが、私は花芽や葉芽が日に日に膨らむの楽しみに見えています。四季の移ろいととも、はっきりと姿の違いを見せてくれる桜は、理科の優秀な教材でもあります。



今日、校庭にバスケットボールのゴールが設置されました。バスケットボールは、高学年が体育で学ぶ運動ですが、本校には校庭にゴールがなかったので、私は着任当初から何とかしないと悩んでいました。また、子供たちからも校庭でバスケットボールがしたいという要望が寄せられていました。このたび、市教育委員会のご理解とご尽力により、新品のゴールを設置していただきました。大切に使っていきたいと思います。子供たちが、バスケットボールを楽しむ姿を後日お伝えしたいと思います。



## <おねがい>

小学生用バスケットゴールは、いわゆるミニバスケットボール用のゴールであり、大人用ゴールのような強度はありません。リングにぶら下がったり、支柱等に登ったりすると、破損や倒壊の危険がありますので、そのような危険な行為は決して行わないでください。

3年生は、朝からバスに乗って校外学習に出かけました。目的地は、北本自然観察公園（埼玉県自然学習センター）です。北本自然公園は、埼玉県の「里地里山」の自然環境に触れることができる場所です。広さが32.9haもあります。西小の敷地面積が約1.5haなので、西小のおよそ22倍の広さということになります。タカの仲間やキツネを「目標種」とし、それらが繁殖できる環境が適切に保たれるように公園の管理を進めているということなので、広大な自然が必要不可欠です。

子供たちは、センターの職員さんのガイドで植物や昆虫、水鳥などを見つけながら豊かな自然に触れたり、ミニシアターや剥製を見たりしながらたくさん学んできました。秋晴れのよい一日を自然を満喫して過ごすことができました。

